

花乃井だより

学校
通信

令和2年5月29日(金)
第6号
大阪市立花乃井中学校

3年生が授業再開！！

登校日ではありますが、昨日から3年生で授業が再開しました。クラスを2分割しての授業で、午前午後3校時ずつですが、本日と2日間で国社数理英の5教科を学習しました。また、各クラス学級活動も行われ、身体測定（身長・体重・視力・聴力検査）を実施しました。来週からは臨時休校で延期になっていた定期健康診断（内科・検尿・心臓検診等）も実施予定です。長い休みでしたが、体調を通常モードに早く戻しましょう。

さて、授業の方はさすが3年生です。久しぶりの授業にもかかわらず、ダラッとしている人はなく、みんな真剣に先生の話を聞き、ノートをとっていました。気温が気になりましたが扇風機を回して対応しています。今後は状況に合わせてエアコンを作動し換気等の感染症対策もしっかりとやっていきます。



(格技室で身体測定)



(プロジェクターを活用した授業)

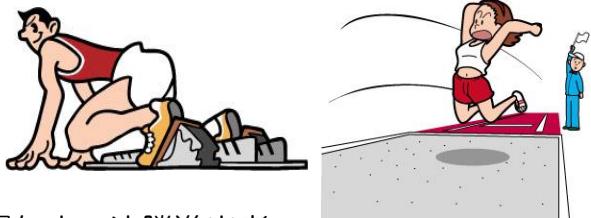
始まりには目標を明確にすること！

皆さん、遅くなりましたがいよいよ学校が再開します。何にしてもそうですが、始まるときにはまず目標を明確にすることです。次にその目標を達成するためにしなければならないことを考えること。その際に現状をよく知ることが大切です。

この期間に学級活動等で目標を考える時間はほとんどなかったと思いますが、3年生のあるクラスでは“どんな1年にしたいか”を考えたようです。もちろん卒業後の進路のこともあると思いますが、「楽しく…」「仲間と…」「仲の良い…」といった言葉が多かったことに感心しました。3年生の皆さんにとっては中学校生活最後の年。自身のことはもちろん、友達のこと、クラスのことをきちんと思っているところがさすがに3年生だと思いました。たくさんの良い思い出をつくるためにしなければならないことは何か。みんなで話し合って頑張ってください。目標の大切さについて、エピソードを1つ紹介します。

世界で勝つためには…

熱戦が繰り広げられた 2017 世界陸上



ロンドン大会のこと。男子 200m で大会史上最年少の決勝進出者

になったサニブラウン・ハキーム選手。以前に先輩のティアナ・バートレッタ選手（女子走り幅跳び）から「何のためにロンドンに行くの？」と問われました。「経験のため」と答えると、「明確な目標がなければ世界では勝てない」と言われたそうです。

彼女は 2005 年のヘルシンキ大会に 19 歳で初出場し、金メダルを獲得します。その後、次の目標が見いだせずスランプに陥ります。しかし、長い苦しい時期を越え、2015 年の北京大会で再び世界一に返り咲いたのです。そんな彼女の言葉は、後輩を奮い立たせたに違いありません。その後、サニブラウン選手は“最終的な目標は世界記録”と口に出すようになったそうです。目標が大きいほど、乗り越えなければならない壁は高い。しかし、目標を見失わない限り、無駄な日は 1 日たりともありません。日々が価値ある 1 日となり、希望が湧き、成長もできます。目標は明確か、改めて自身に問うてください。敢然とゴールへ進み続ける人に“人生の金メダル”は輝くのです。



3年生 いく春思い 五七五 !!

3年生で俳句や川柳を作っていました。ちょっと見せていただいたら力作ぞろいで感動しました。このコロナ禍のために予定していたことが何もできなかったこと。臨時休校や自粛生活のために外出も思うようできず、季節感を感じられること。友達とも会えず、学校行事も延期や中止になって、思い出が作れなくなった悔しさ、生活リズムが崩れてしまって大変なこと、将来の夢、世相を反映したもの……等々。それぞれの思いが充分に伝わってきます。全部掲載することはできませんが、校長選（独断）ということでいくつかを紹介します。

- お花見を 見るとえがおが とまらない
- 外に出て マスク越しでも 花香る
- 公園で 三密さける ハトポッポ
- まどみれば 町はからっぽ さみしいな
- 君と僕 会えずにリモート 笑い合う
- 自粛中 体重計乗り 目閉じる
- 甲子園 中止と聞いて 胸痛む
- 来年の 今頃てる インターハイ
- コロナ菌 流れて消えよ 春の川
- 花散れど 病に勝てば 春は来る
- 春服を 買ったのにまだ 着ていない
- 夏服に 思い出いっぱい コロナ明け
- 久々に 風を感じ 友と会う
- みんなでね 春の約束 果たしたい
- 不安だよ 今年の勉強 受験生
- ネットみる はじめておもう もういやだ
- コロナでね 引退するのか 最後の夏
- バカとのよ バカは病に ならぬなり